

実技科目

目次

専攻実技(ピアノ)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(ピアノ).....	1	専攻実技(打楽器)マリンバ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(打楽器).....	24
専攻実技(弦楽器)ヴァイオリン, ヴィオラ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器).....	5	専攻実技(ハープ)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(ハープ).....	28
専攻実技(弦楽器)チェロ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器).....	9	専攻実技(古楽器)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(古楽器).....	31
専攻実技(弦楽器)コントラバス①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器).....	12	専攻実技(声楽)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(声楽).....	35
専攻実技(管楽器)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(管楽器).....	16	専攻実技(作曲)①～④ α , β ・演奏審査・オーケストラ作品・卒業作品.....	39
専攻実技(打楽器)パーカッション①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(打楽器).....	20	専攻実技(指揮)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(指揮).....	43

専攻実技(ピアノ)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(ピアノ)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

ピアノ実技レッスンを通して様々な時代のピアノ音楽を知ると共に、演奏テクニックを身につける。また、楽譜の読み方、様式感等、音楽家として必要な基礎知識と理解力を養う。

4年間の個人レッスンが基本となるが、在学中幅広くスタンダードなレパートリーを学習するよう試験の課題曲が設定されている。3年次にはコンチェルトが試験の課題になる。

また、年間6、7名の招聘講師が来校し、特別レッスンや公開講座が頻繁に行われている。学生はその全てを聴講でき、公開講座は単位修得に結びつく。テクニックのグレード試験を年4回実施している。決められた課題で順を追って受験する。3年次までに少なくともグレード3まで修めなくてはならない。その他、桐朋ピアノ・コンペティション、桐朋ピアノコンチェルト・コンペティション、成績優秀者によるスチューデントコンサート、木の香りコンサート等開催し、活発な演奏経験を促している。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

様々なスタンダードなレパートリーに幅広くアプローチする中で、各自 4 年間の取り組みを通しての卒業時での到達点を見極め、2 回に渡る卒業試験のプログラムとして発表する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ピアノ専攻生および副専攻生

【授業の形式】

レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。卒業成績は公開演奏と学内での試験の成績で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

各担当教員、または教員室・事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること。責任者のオフィスアワーは金曜日5限後アネックス

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(弦楽器)ヴァイオリン, ヴィオラ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

週 1 時間の個人指導。クラス単位の演奏実習。ソリストとしてオーケストラとの協演の機会を持ち、コンサートでの体験を行う。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

楽器の基礎技術の向上、楽曲の様式感、和声感の理解力の向上、また演奏家としてのあり方、室内楽やオーケストラとのアンサンブル技術の向上を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ヴァイオリン、ヴィオラ専攻生及び副専攻生

【授業の形式】

演習・実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。卒業時は公開演奏形式での試験とする。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

担当教員または教員室・事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること。責任者は火曜日午後・仙川キャンパスにてレッスン前後に時間を確保します

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(弦楽器)チェロ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

それぞれの個性を重視し、卒業後も音楽家として伸びていけるよう配慮している。個々の学生に適切な教則本や曲を選び、指導する。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

深い創造性、高い技術、広い人間性を持った音楽家を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

チェロ専攻生または副専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。演奏曲への理解度と共に完成度などを総合的に判断する。

卒業時は公開演奏形式での試験とする。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

担当教員または教員室・事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること。責任者は月曜・土曜の午後 仙川教室にてレッスン前後に時間を確保します。

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(弦楽器)コントラバス①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(弦楽器)

曜日時限・単位・担当教員 各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位

実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

週 1 時間の個人指導。ソロとオーケストラの曲を研究する。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

演奏法・指導法を、様式感・和声感などから多角的に検討しながら、プロフェッショナルな演奏家、教師を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

コントラバス専攻生および副専攻生

【授業の形式】

【対面を中心】演習。 実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。テクニック、音楽性など総合的に判断する。卒業時は公開演奏形式での試験とする。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

火曜日 午後 仙川教室にてレッスン前後に時間を確保します

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(管楽器)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(管楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

管楽器奏法の基礎ならびに応用。楽器の構造を理解し、適切な演奏法を研究する。作品について、時代背景・様式なども含めて見識を深める。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

ソロだけではなく、室内楽やオーケストラなど様々な分野で応用出来るような、高度な技術と適切な表現方法をマスターする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

管楽器専攻生および副専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】**1.オリエンテーション(レッスン計画等)**

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(打楽器)パーカッション①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(打楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

打楽器の基本実技とその応用を習得する。プロフェッショナルな演奏家の基礎を作る。打楽器全般の基本奏法を学び、Solo、室内楽、オーケストラの演奏に対応できる奏者を目指す。個人指導が基本だが、少人数の分奏形式で行う場合もある。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

ソロだけではなく、室内楽やオーケストラなど様々な分野で応用出来るような、高度な技術と適切な表現方法をマスターする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

パーカッション専攻生・副専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(打楽器)マリンバ①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(打楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

マリンバの豊かな音色・音楽を創るための技術・音楽性の向上を目指す。楽器独自の深いサウンドを出せるように演奏法を研究し、世界のオリジナル作品を理解し、見識を深める。日本発信のオリジナル作品を大切にする。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

ソロだけではなく、室内楽やオーケストラなど様々な分野で応用出来るような、高度な技術と適切な表現方法をマスターする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

マリンバ専攻生・副専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(ハープ)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(ハープ)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

ハープ奏法の基礎ならびに応用。楽器の構造を理解し、適切な演奏法を研究する。作品について、時代背景なども含めて見識を深める。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

ソロだけではなく、室内楽やオーケストラなど様々な分野で応用出来るような、高度な技術と適切な表現方法をマスターする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ハープ専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(古楽器)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(古楽器)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	

【授業の概要】

古楽器演奏の基礎と応用を学ぶ。各自のレベルに応じた実技レッスンを通して、様々な古楽のレパートリーに接するとともに、基本から応用にいたる技術を身につける。また記譜法、装飾方、演奏様式など古楽演奏に必要な諸知識と理解力を養う。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

古楽ではさまざまな様式の理解と表現が重要な意味を持つ。学生は演奏技術の習得とともに、様式性の理解に努める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

古楽器専攻生

【授業の形式】

演習・レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

実技試験の成績により評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30—16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(声楽)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(声楽)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

4年間の一貫した個人レッスンを通して、声楽家としての演奏能力を養う。

1年次においては、ヴォカリーズによる練習曲(Concone、Panofka、Vaccaj、Marchesi、Lütgen 等)を適宜使用し、正しい発声技術を習得する。原則的にイタリア古典声楽曲集、Bellini、Rossini、Tosti、Donaudy 等イタリア語の歌曲集を中心に学ぶもの

とするが、個々の学生の進度によってはこれにこだわらない。

2年次以降では、学生の技量に合わせ、各担当教員の指示によりイタリア語だけに留まらずドイツ語・フランス語・日本語の歌曲及びオペラ・アリア、宗教曲にもレパートリーを拡げる。英語・スペイン語・ロシア語作品を取り上げる場合もある。

また、古典・ロマン派・近現代のそれぞれ異なる様式感を身につける。4年間を通じ、演奏者としての豊かな感性と表現力を養うことを目標とする。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

正しい発声法を習得すると共に、歌詞や音楽を深く理解し、響きのある声で表情豊かに歌うことができるようにする。また、幅広いレパートリーに対応可能な知識を身につけられるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

声楽専攻生、副専攻生

【授業の形式】

実技レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

1年次:後期実技試験、2・3年次:前期・後期実技試験においては任意の1曲を演奏する。

4年次:卒業試験(後期)では、オペラ・アリア1曲及び2か国語以上・二人以上の作曲家による5曲の歌曲(うち1曲はオペラ・アリアに代えても良い)を提出し、任意のオペラ・アリア1曲と試験当日抽選の2曲、計3曲を演奏する。(1年次・4年次の前期試験は行わない)

成績評価は実技試験の採点結果をもとに行う。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(唱法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(唱法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究) ②

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(唱法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(唱法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

担当教員または教員室・事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

レッスン時に各担当教員より指示する。

【その他】

専攻実技(作曲)①～④ α , β ・演奏審査・オーケストラ作品・卒業作品	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、演奏審査・オーケストラ作品・卒業作品各 2 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

古典の範例を音楽的技法としてまず的確に学ぶこと、その上で他者（演奏家を含むあらゆる領域の表現者）あるいは異文化領域（科学、哲学、言語等）に積極的に触れること。それによって、等身大の自己をその時々によって見極め、興味の対象を明確にし、発想を着実に且つ徹底的に掘り下げ、最終的に作品への定着によって、自らを相対化し、表現を新しくする。

1～3年次までに演奏審査を、4年次までにオーケストラ作品の提出を、4年次には卒業作品の提出を課す。

音楽家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

- 1) 西洋音楽史上の基本的な作曲技法の習熟をはかる。
- 2) 作曲専攻生に特化された授業（作曲法演習、特任教授特別講義、作曲支援プログラム等）により専門性を深化させる。
- 3) 学内外で実施される作品の応募等に果敢にチャレンジし、自らの作品を「音」にする機会を積極的に作る。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

作曲専攻生及び副専攻生

【授業の形式】

【対面を中心】演習。レッスン

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

年一回の作品提出（規定による卒業作品、オーケストラ作品、および演奏審査を含む）。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.和音と非和声音

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.調性の概観

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

4.拡大調性の可能性

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.調性と無調

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.形式の定義と応用

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.和声と対位法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.12 音技法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.歴史的作曲様式の理解

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.年代ごとの作曲技法ールネッサンス期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.年代ごとの作曲技法ーバロック期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.年代ごとの作曲技法ー古典期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.年代ごとの作曲技法ーロマン派

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.年代ごとの作曲技法ー近現代

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.現代の音楽へのアプローチ

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.楽曲研究－分析法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.楽曲研究－楽器奏法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.楽曲研究－音響構造の特性等

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.楽曲研究－楽器編成による特性等

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.楽曲研究－記譜法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.楽曲研究－構成法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.後期提出作品の創作①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.後期提出作品の創作②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.後期提出作品の創作③

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.後期提出作品の創作④

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

12.後期提出作品の創作⑤

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.後期提出作品の創作⑥

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.作品の自己分析①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.作品の自己分析②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

適宜

【その他】

専攻実技(指揮)①～④ α , β ・専攻実技卒業演奏(指揮)	
曜日時限・単位・担当教員	各 3 単位、専攻実技卒業演奏 6 単位
実施キャンパス	
対象年次	学部 1～4 年

【授業の概要】

多様な楽曲の中からそれぞれに適した楽曲を学び、実習を通して指揮者に必要な技量の習得を目指す。

演奏家としての経験を踏まえ教育を行う。

【到達目標】

それぞれの学習状況に応じた課題に取り組み、指揮者としての音楽的な表現や技量の習得を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

指揮専攻生および副専攻生。

【授業の形式】

試験は2台のピアノを指揮する形で行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
100%		

【成績評価の要点②】

主に試験の評価による。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること

【テキスト】

【教材】

オーケストラ・スコア、斎藤秀雄著「新指揮教程」など。

【その他】